

## ● 事業の目的

沖縄県では、「第2期沖縄県スポーツ推進計画」(2022年度から2026年度まで)を策定し、スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成、スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開、スポーツ資源を活用したまちづくりといった施策を掲げ、スポーツ関連産業の振興と地域活性化に取り組むこととしています。

本事業は、沖縄県のスポーツ資源を有効に活用し新たなスポーツビジネスモデルを創出するなど、スポーツ・ヘルスケア関連産業の付加価値構築に向け、モデル事業に取り組む事業者を広く募集し、事業実施費用の補助を行うとともに、事業の企画・開発等の立ち上げならびに事業化の支援を行うことで、沖縄県のスポーツ市場の拡大を図ることを目的として実施します。

## ● 募集するモデル事業

本事業の対象は、沖縄県内の各産業分野とスポーツを関連させた事業とします。

関連する分野・テーマ	ターゲット	モデル事業	
観光	コンベンション	アスリート	スポーツ科学・医学・情報に関するサポート、リハビリ・トレーニングプログラムの提供
		県民、観光客	トップアスリートとの交流による競技力向上プログラムの提供
	ツーリズム	観光客	スポーツを目的とした観光客を対象とした観光メニューの企画・開発
健康	健康科学	県民 (高齢者、女性等)	アスリートの健康データ等を利用した健康指導等の提供
	運動プログラム		スポーツを活用した健康づくりプログラムの提供
教育・運動能力向上	スポーツ教室	県民 (子ども等)	運動能力向上や次代のスポーツ選手育成のためのスポーツ教室等のプログラム提供
ものづくり・サービス・Tech	商品開発		県内トップスポーツクラブ等と連携したクラブのブランド等を活かした製品開発
	サービス		県内トップスポーツクラブ等と連携したファンサービスの開発
	DX		県内トップスポーツクラブ等と他産業とのオープンイノベーションによる新たな商品・サービスの開発
	デジタル技術		デジタル技術を活用した新たなスポーツ・運動プログラムの開発

※単発的なスポーツイベント・スポーツツーリズムの実施費用は補助対象外とします。※上記は、あくまでも事例です。関連する産業は上記に限定するものではなく、また複数分野にわたっても構いません。

## ● 応募資格 応募者は、次の要件をすべて満たしていることが必要です。

- 1 沖縄県内に事業所を有する法人、大学であること。又は、代表事業者が沖縄県内に事業所を有する法人である共同企業体(役割や費用の分担等が協定書等により定められているものに限る)であること。
- 2 本補助事業の主要な工程及び本事業終了後の事業展開を県内で実施すること。
- 3 同一の事業又は内容で、国、公共団体、又はそれに準ずる公的補助制度による補助(委託事業を含む)を受けていないこと。
- 4 本補助事業に係る経理その他の事務について、的確な管理体制及び処理能力を有すること。
- 5 本補助事業の進捗状況の報告や毎月の成果を報告できること。
- 6 本補助金を活用し、成果及び波及性が見込まれること。
- 7 採択された場合に、企業名、モデル事業の内容などを一般(新聞、ホームページ等)に公表すること、ならびに本補助事業終了時の成果報告会等に事業の成果を公表することに同意すること。
- 8 本補助事業の終了後の動向や波及効果等について、フォローアップ評価(追跡調査)を行う場合に協力すること。

事業期間 交付決定日から令和5年2月28日

補助率 3分の2

補助上限額 10,000千円

募集枠 5件程度



# 》 事業概要報告書 《 (令和4年度)

本報告書は、令和4年度「スポーツアイランド沖縄」形成に向けた付加価値構築支援補助金の採択事業者の取り組み事例について、紹介するものです。  
スポーツ・ヘルスケア関連産業分野での事業展開の参考としてご活用ください。



沖縄県

文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟8階(南側) TEL:098-866-2708 FAX:098-866-2729

業務委託先・事務局

令和4年度「スポーツアイランド沖縄」形成に向けた付加価値構築支援補助金運営事務局  
(株式会社海邦総研・三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社・株式会社宣伝共同企業体)

事業者名	事業名	補助金(千円)
一般社団法人沖縄県サイクルスポーツ振興協会	E-bikeを中心としたサイクリングツアー活性化事業	9,357
一般社団法人アスリート工房	連携型地域スポーツメジャー化プログラム	8,816
株式会社琉球コラソン・株式会社アカネクリエーション スポーツ振興活動共同企業体	全世代向け「ハンドボール・クリニック」(スポーツ教室)運営事業	10,000
一般社団法人日本フレスコボール協会	沖縄県産フレスコボールラケット製造・販売	4,871
一般社団法人スポーツおきなわ	スポーツ医科学・測定評価データの収集に基づく「コンディション管理システム(ウェアアプリ)開発」と「新規操作測定機器の開発」	8,990
一般社団法人SWITCH Labo.	地域で支え合う健康づくりプロジェクト	1,900
一般社団法人スポッツプロジェクト事務局	第10回育成会ドリームカップ	2,929

## 採択事業者による取組事例の紹介

### 事業者名 一般社団法人 沖縄県サイクルスポーツ振興協会

事業名 E-bikeを中心としたサイクリングツアー活性化事業  
 総事業費 15,076(千円) 補助額 9,357(千円)

#### 取組の概要

一般社団法人沖縄県サイクルスポーツ振興協会は、自転車を楽しみながら移動し、地域観光コンテンツの魅力を感じることができるE-bikeサイクルツーリズムの普及等を図ることで、県内におけるE-bikeサイクリング文化の成長、持続可能な観光地形成に貢献することを目的に、高付加価値なE-bikeサイクリングツアーの造成、E-bikeサイクリングツアーの事業支援など、E-bikeサイクルツーリズムに関する新たなビジネスモデルの形成に取り組みました。  
 令和4年度は、造成した商品のモニターツアーの実施、連携事業者との商品販売に向けた協業体制の構築等を図りました。



▲商品告知用チラシ

### 事業者名 一般社団法人 アスリート工房

事業名 連携型地域スポーツメジャー化プログラム  
 総事業費 14,024(千円) 補助額 8,816(千円)

#### 取組の概要

子どもから大人までが参加できる陸上クラブとして、県内複数拠点で活動を進めてきた一般社団法人アスリート工房は、部活動の地域移行などにより、変化が著しい地域のスポーツの活動を支える地域スポーツクラブとして成長することを目的に、地域や学校との連携、地域スポーツクラブ間の連携構築に取り組みました。  
 令和4年度は、国際通りでのダッシュ大会や、与那原町でのおきなわスポーツフェスタなど、地域と連携したスポーツイベントを実施したほか、複数の地域スポーツクラブが連携し、定額制でスポーツ教室に通うことができるサブスクリプションサービスのサービスを開始しました。



▲イベント告知チラシ

▲サブスクリプションサービスチラシ

### 事業者名 株式会社琉球コラソン・株式会社アカネクリエーション スポーツ振興活動共同企業体

事業名 全世代向け「ハンドボール・クリニック」(スポーツ教室)運営事業  
 総事業費 15,537(千円) 補助額 10,000(千円)

#### 取組の概要

株式会社琉球コラソン・株式会社アカネクリエーションスポーツ振興活動共同企業体は、琉球コラソンに所属する現役アスリートの働きながら競技を続ける新しいプロ化の形(トリプルキャリア)の実現、新たなチームの事業収入確保によるクラブの運営基盤の強化を目的に、現役アスリートによるジュニア向け・成人向け「指導プログラム」の構築、事業化に取り組みました。  
 令和4年度は、チーム創設時から実施してきたハンドボール講習会や個別指導の経験を基にした組織的・体系的なジュニア指導プログラムや、成人向けハンドボール・クリニックを企画、運営しました。



▲指導プログラム告知チラシ

### 事業者名 一般社団法人 日本フレスコボール協会

事業名 沖縄県産フレスコボールラケット製造・販売  
 総事業費 7,821(千円) 補助額 4,871(千円)

#### 取組の概要

一般社団法人日本フレスコボール協会は、ブラジル発祥の思いやりのビーチスポーツである「フレスコボール」の認知向上、競技人口の増加を目的に、フレスコボール普及の重要拠点である沖縄県で、県産木材を利用したフレスコボールラケットの製造・販売に取り組みました。協会が主体となってラケットを製造・販売することで、協会の収益基盤の強化、より安定したフレスコボール普及活動の実施につなげることも狙いです。  
 令和4年度は、4種類のラケットを開発(大人用2種、子ども用2種)、販売を開始したほか、県内各地でフレスコボール体験会を開催、体験会ではラケットの試打会もあわせて実施しました。



▲開発したラケット

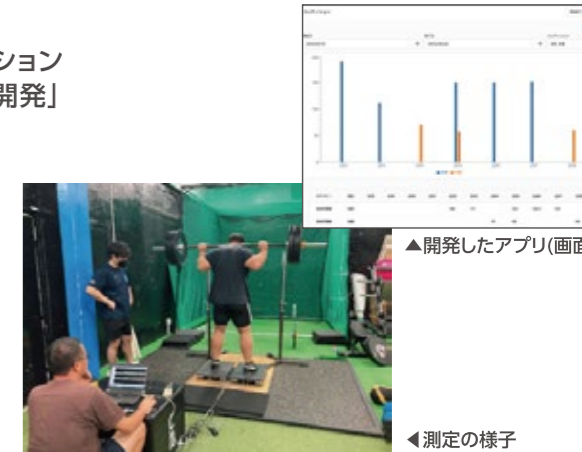
◀体験会の様子

### 事業者名 一般社団法人 スポーツおきなわ

事業名 スポーツ医科学・測定評価データの収集に基づく「コンディション管理システム(ウェアアプリ)開発」と「新規操作測定機器の開発」  
 総事業費 14,243(千円) 補助額 8,990(千円)

#### 取組の概要

スポーツ選手へのトレーニング指導や、トレーニング機材の販売等を通じて、スポーツ選手の育成・強化に取り組んでいる一般社団法人スポーツおきなわは、沖縄県におけるスポーツ医科学拠点形成を目的に、コンディション管理システム(ウェアアプリ)開発を通じた、ジュニア選手のコンディショニング・トレーニング支援サービスの構築、新規動作測定器の開発(アプリケーション)を通じた、高度なコンディショニング・トレーニングに関するデータ解析サービスの構築に取り組みました。  
 令和4年度は、サービスの基盤となるコンディション管理システム、新規動作測定器の開発を実施しました。



▲開発したアプリ(画面)

◀測定の様子

### 事業者名 一般社団法人 SWITCH Labo.

事業名 地域で支え合う健康づくりプロジェクト  
 総事業費 3,136(千円) 補助額 1,900(千円)

#### 取組の概要

一般社団法人SWITCH Labo.は、県民の運動実施率の向上や、働き盛り世代の死亡率の高さやメタボ該当者・予備軍が多い等の県民の健康課題の解決につなげることを目的に、県内企業が自社の従業員の健康を考える「健康経営」を実行しながら、地域の人々が参加できる「スポーツ・健康教室」を協賛し、地域の健康づくりを支援するプログラムの開発に取り組みました。  
 令和4年度は、県内のうちなー健康経営宣言をした企業を中心としたPR等を実施、プログラムへ関心のある企業の発掘・獲得～サービスの提供までを実施しました。



▲プログラムを紹介するホームページ

### 事業者名 一般社団法人 スポッツプロジェクト事務局

事業名 第10回育成会ドリームカップ  
 総事業費 4,831(千円) 補助額 2,929(千円)

#### 取組の概要

沖縄が発祥とされる「育成会」は、中学校野球部の活動を引退した中学3年生が、高校野球へ向けて硬式野球に親しむ場を与えることを目的とした活動です。一般社団法人スポッツプロジェクト事務局は、各地の「育成会」の活動の集大成として実施される「育成会ドリームカップ」(大会)の主催団体として、「育成会」の活動・運営体制等の強化を図り、スポーツ振興、子どもたちの健全育成に寄与することを目的に事業を実施しました。  
 令和4年度は、第10回の記念大会となる「育成会ドリームカップ」の開催、「育成会」の活動基盤の確立を目的に、「育成会」の理念・趣旨の明確化、指導コンパスの制定に取り組みました。



▲記念大会の様子

▲記念大会チラシ